実務経験のある教員等による授業科目一覧（介護福祉学科）

	授業科目	授業の実施形態	単位数	担当教員	実務経験の有無	実務経験
1	介護の基本Ⅰ	講義	4	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
2	介護総合演習Ⅰ	講義	1	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
3	介護総合演習Ⅱ	講義・演習	1	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
4	介護総合演習Ⅲ	講義	1	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
5	介護総合演習Ⅳ	講義・演習	1	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
6	コミュニケーション技術Ⅱ	講義	2	野口佳代	有	介護老人保福祉設勤務11年
7	人間関係とコミュニケーションⅡ	講義	2	野口佳代	有	介護老人福祉施設勤務11年
	合計		12			

実務経験のある教員等による授業科目一覧（医療事務学科）

	授業科目	授業の実施形態	単位数	担当教員	実務経験の有無	実務経験
1	医療事務（医科）Ⅱ	講　義	8	木立幸子	有	病院勤務6年
2	医事法規	講　義	2	木立幸子	有	病院勤務6年
	合計		10			

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

<table>
<tr><td colspan="3">授業のタイトル
介護の基本Ⅰ</td><td>授業の種類
講　義</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業担当者
野口　佳代</td><td colspan="2">具体的な実務経験の内容
介護老人福祉施設勤務 11 年</td></tr>
<tr><td>授業の回数
90</td><td>時間数（単位数）
90（4）</td><td>配当学年・時期
1年・通年</td><td>必修・選択
必　修</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の目的・ねらい】
「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を生活の視点から捉えるための学習とする。
【授業全体の内容の概要】
尊厳を支える介護、自立に向けた介護、介護を必要とする人の理解について

【授業修了時の達成課題（到達目標）】①あらゆる場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得する。②介護を必要とする人の潜在的な能力を引き出し、活用・発揮させることの意義について理解できる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】
コマ数
01　生活の考え方①（講義、質疑応答）
02　生活の考え方②（講義、質疑応答）
03　生活の考え方③（講義、質疑応答）
04　私たちの生活①（講義、質疑応答）
05　私たちの生活②（講義、質疑応答）
06　私たちの生活③（講義、質疑応答）
07　介護を必要とする人の理解（講義、質疑応答）
08　自然な老いによって介護が必要になった事例①（講義、質疑応答）
09　自然な老いによって介護が必要になった事例②（講義、質疑応答）
10　障害者の事例①（講義、質疑応答）
11　障害者の事例②（講義、質疑応答）
12　障害者の事例③（講義、質疑応答）
13　家族と暮らす高齢者の事例①（講義、質疑応答）
14　家族と暮らす高齢者の事例②（講義、質疑応答）
15　家族と暮らす高齢者の事例③（講義、質疑応答）　※16－90次項添付</td></tr>
<tr><td colspan="2">【使用テキスト・参考文献】
介護福祉士養成講座
「③介護の基本Ⅰ」（中央法規出版）</td><td colspan="2">【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など）
授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。</td></tr>
</table>

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　一人で暮らす高齢者の事例①（講義、質疑応答）
17　一人で暮らす高齢者の事例②（講義、質疑応答）
18　一人で暮らす高齢者の事例③（講義、質疑応答）
19　認知機能の障害の事例①（講義、質疑応答）
20　認知機能の障害の事例②（講義、質疑応答）
21　認知機能の障害の事例③（講義、質疑応答）
22　尊厳を支える介護①（講義、質疑応答）
23　尊厳を支える介護②（講義、質疑応答）

24 尊厳を支える介護③（講義、質疑応答）
25 生活環境のとらえ方①（講義、質疑応答）
26 生活環境のとらえ方②（講義、質疑応答）
27 生活環境のとらえ方③（講義、質疑応答）
28 生活障害の理解と生活ニーズ①（講義、質疑応答）
29 生活障害の理解と生活ニーズ②（講義、質疑応答）
30 生活障害の理解と生活ニーズ③（講義、質疑応答）
31 介護の成り立ち①（講義、質疑応答）
32 介護の成り立ち②（講義、質疑応答）
33 介護の見方・考え方の変化①（講義、質疑応答）
34 介護の見方・考え方の変化②（講義、質疑応答）
35 利用者に合わせた生活支援①（講義、質疑応答）
36 利用者に合わせた生活支援②（講義、質疑応答）
37 利用者に合わせた生活支援③（講義、質疑応答）
38 自立に向けた介護①（講義、質疑応答）
39 自立に向けた介護②（講義、質疑応答）
40 自立に向けた介護③（講義、質疑応答）
41 介護の専門性①（講義、質疑応答）
42 介護の専門性②（講義、質疑応答）
43 介護の専門性③（講義、質疑応答）
44 身体的援助とその意義①（講義、質疑応答）
45 身体的援助とその意義②（講義、質疑応答）
46 身体的援助とその意義③（講義、質疑応答）
47 家事支援とその意義①（講義、質疑応答）
48 家事支援とその意義②（講義、質疑応答）
49 家事支援とその意義③（講義、質疑応答）
50 生活支援ニーズを見出す相談援助とその意義①（講義、質疑応答）
51 生活支援ニーズを見出す相談援助とその意義②（講義、質疑応答）
52 生活支援ニーズを見出す相談援助とその意義③（講義、質疑応答）
53 利用者・家族に対する精神的支援とその意義①（講義、質疑応答）
54 利用者・家族に対する精神的支援とその意義②（講義、質疑応答）
55 利用者・家族に対する精神的支援とその意義③（講義、質疑応答）
56 社会・文化的な援助とその意義①（講義、質疑応答）
57 社会・文化的な援助とその意義②（講義、質疑応答）
58 社会・文化的な援助とその意義③（講義、質疑応答）
59 尊厳を支えることの意味①（講義、質疑応答）
60 尊厳を支えることの意味②（講義、質疑応答）
61 尊厳を支えることの意味③（講義、質疑応答）
62 尊厳を支えることの意味④（講義、質疑応答）
63 QOLの考え方①（講義、質疑応答）
64 QOLの考え方②（講義、質疑応答）
65 QOLの考え方③（講義、質疑応答）
66 QOLの考え方④（講義、質疑応答）
67 ノーマライゼーションの実現①（講義、質疑応答）
68 ノーマライゼーションの実現②（講義、質疑応答）
69 ノーマライゼーションの実現③（講義、質疑応答）
70 ノーマライゼーションの実現④（講義、質疑応答）
71 介護におけるICFのとらえ方①（講義、質疑応答）
72 介護におけるICFのとらえ方②（講義、質疑応答）
73 介護におけるICFのとらえ方③（講義、質疑応答）
74 介護におけるICFのとらえ方④（講義、質疑応答）
75 ICFの視点に基つくアセスメント①（講義、質疑応答）
76 ICFの視点に基つくアセスメント②（講義、質疑応答）
77 ICFの視点に基つくアセスメント③（講義、質疑応答）
78 ICFの視点に基つくアセスメント④（講義、質疑応答）
79 介護実践におけるリハビリテーションの考え方①（講義、質疑応答）
80 介護実践におけるリハビリテーションの考え方②（講義、質疑応答）

81　介護実践におけるリハビリテーションの考え方③（講義、質疑応答）
82　介護実践におけるリハビリテーションの考え方④（講義、質疑応答）
83　日常生活と社会生活の能力の維持・拡大への支援①（講義、質疑応答）
84　日常生活と社会生活の能力の維持・拡大への支援②（講義、質疑応答）
85　日常生活と社会生活の能力の維持・拡大への支援③（講義、質疑応答）
86　日常生活と社会生活の能力の維持。拡大への支援④（講義、質疑応答）
87　リハビリテーション専門職との連携①（講義、質疑応答）
88　リハビリテーション専門職との連携②（講義、質疑応答）
89　リハビリテーション専門職との連携③（講義、質疑応答）
90　リハビリテーション専門職との連携④（講義、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル 介護総合演習Ⅰ			授業の種類 講　義
授業担当者 野口　佳代		具体的な実務経験の内容 介護老人福祉施設勤務 11 年	
授業の回数 30	時間数（単位数） 30（1）	配当学年・時期 1 年・前期	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】

実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。

【授業全体の内容の概要】

介護実習の意義と目的、実習先の概要、実習Ⅰの展開について

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

あらゆる介護場面に共通する基礎的な知識・技術を習得する。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01　介護実習はこんなにおもしろい（講義、質疑応答）
02　なぜ介護実習が必要なのか（演習、質疑応答）
03　介護実習で何を学ぶか（講義、質疑応答）
04　実習Ⅰの目的とおもな実習内容（講義、質疑応答）
05　実習Ⅱの目的とおもな実習内容（講義、質疑応答）
06　実習前に何を学んだか（講義、質疑応答）
07　他科目での学びをどのように活かすか（講義、質疑応答）
08　通所介護①（講義、質疑応答）
09　通所介護②（講義、質疑応答）
10　特別養護老人ホーム（実習Ⅰ）（講義、質疑応答）
11　老人保健施設（実習Ⅱ）（講義、質疑応答）
12　グループホーム①（講義、質疑応答）
13　グループホーム②（講義、質疑応答）
14　小規模多機能①（講義、質疑応答）
15　小規模多機能②（講義、質疑応答）

※16－30次項添付

【使用テキスト・参考文献】 介護福祉士養成講座 「⑩介護総合演習・実習」（中央法規出版）	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など） 授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　実習を始めるまでの手続き（講義、質疑応答）
17　実習生の心得①（講義、質疑応答）
18　実習生の心得②（講義、質疑応答）
19　実習生の心得③（講義、質疑応答）
20　実習生の心得④（講義、質疑応答）
21　実習計画と記録（日誌）①（講義、質疑応答）
22　実習計画と記録（日誌）②（講義、質疑応答）
23　実習計画と記録（日誌）③（講義、質疑応答）

24 実習計画と記録（日誌）④（講義、質疑応答）
25 コラム（講義、質疑応答）
26 実習モデル①（講義、質疑応答）
27 実習モデル②（講義、質疑応答）
28 実習モデル③（講義、質疑応答）
29 実習終了後に行うこと（講義、質疑応答）
30 実習の振り返りの重要性（講義、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル 介護総合演習Ⅱ			授業の種類 講　義　・　演　習
授業担当者 野口　佳代		具体的な実務経験の内容 介護老人福祉施設勤務 11 年	
授業の回数 30	時間数（単位数） 30（1）	配当学年・時期 1 年・後期	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】

実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。

【授業全体の内容の概要】

実習先の概要、実習Ⅱの展開について

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得する。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01　実習Ⅱの目的とおもな実習内容①（講義、質疑応答）
02　実習Ⅱの目的とおもな実習内容②（講義、質疑応答）
03　特別養護老人ホーム（実習Ⅱ）①（講義、質疑応答）
04　特別養護老人ホーム（実習Ⅱ）②（講義、質疑応答）
05　特別養護老人ホーム（実習Ⅱ）③（講義、質疑応答）
06　特別養護老人ホーム（実習Ⅱ）④（演習、質疑応答）
07　老人保健施設（実習Ⅱ）①（講義、質疑応答）
08　老人保健施設（実習Ⅱ）②（講義、質疑応答）
09　老人保健施設（実習Ⅱ）③（講義、質疑応答）
10　老人保健施設（実習Ⅱ）④（演習、質疑応答）
11　身体障害者療護施設①（講義、質疑応答）
12　身体障害者療護施設②（講義、質疑応答）
13　身体障害者療護施設③（講義、質疑応答）
14　身体障害者療護施設④（演習、質疑応答）
15　実習前に何を学んだか（講義、質疑応答）

※16－30次項添付

【使用テキスト・参考文献】 介護福祉士養成講座 「⑩介護総合演習・実習」（中央法規出版）	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など） 授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　他科目での学びをどのように活かすか（講義、質疑応答）
17　実習を始めるまでの手続き（講義、質疑応答）
18　実習計画と記録（日誌）①（講義、質疑応答）
19　実習計画と記録（日誌）②（講義、質疑応答）
20　実習計画と記録（日誌）③（演習、質疑応答）
21　実習計画と記録（日誌）④（演習、質疑応答）
22　コラム（講義、質疑応答）
23　実習モデル①―①（演習、質疑応答）

24 実習モデル①―②（演習、質疑応答）
25 実習モデル②―①（演習、質疑応答）
26 実習モデル②―②（演習、質疑応答）
27 実習終了後に行うこと①（講義、質疑応答）
28 実習終了後に行うこと②（講義、質疑応答）
29 実習の振り返りの重要性①（講義、質疑応答）
30 実習の振り返りの重要性②（講義、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル 介護総合演習Ⅲ			授業の種類 講　義
授業担当者 野口　佳代		具体的な実務経験の内容 介護老人福祉施設勤務 11 年	
授業の回数 30	時間数（単位数） 30（1）	配当学年・時期 2年・前期	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】

実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等ついて、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。

【授業全体の内容の概要】

介護実習と他科目との関連、実習先の概要、実習Ⅱの展開について

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得する。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01　実習Ⅰの目的とおもな実習内容①（講義、質疑応答）
02　実習Ⅰの目的とおもな実習内容②（講義、質疑応答）
03　実習Ⅱの目的とおもな実習内容①（講義、質疑応答）
04　実習Ⅱの目的とおもな実習内容②（講義、質疑応答）
05　実習前に何を学んだか①（講義、質疑応答）
06　実習前に何を学んだか②（講義、質疑応答）
07　他科目での学びをどのように活かすか①（講義、質疑応答）
08　他科目での学びをどのように活かすか②（講義、質疑応答）
09　訪問介護（実習Ⅰ）①（講義、質疑応答）
10　訪問介護（実習Ⅰ）②（講義、質疑応答）
11　訪問介護（実習Ⅰ）③（講義、質疑応答）
12　訪問介護（実習Ⅰ）④（講義、質疑応答）
13　実習生の心得①（講義、質疑応答）
14　実習生の心得②（講義、質疑応答）
15　実習生の心得③（講義、質疑応答）

※16－30次項添付

【使用テキスト・参考文献】	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など）
介護福祉士養成講座 「⑩介護総合演習・実習」（中央法規出版）	授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　実習生の心得④（講義、質疑応答）
17　実習を始めるまでの手続き（講義、質疑応答）
18　実習計画と記録①（講義、質疑応答）
19　実習計画と記録②（講義、質疑応答）
20　実習計画と記録③（講義、質疑応答）
21　実習計画と記録④（講義、質疑応答）
22　実習モデル①―①（講義、質疑応答）
23　実習モデル①―②（講義、質疑応答）

24 実習モデル②―①（講義、質疑応答）
25 実習モデル②―②（講義、質疑応答）
26 実習終了後に行うこと①（講義、質疑応答）
27 実習終了後に行うこと②（講義、質疑応答）
28 実習の振り返りの重要性①（講義、質疑応答）
29 実習の振り返りの重要性②（講義、質疑応答）
30 実習の振り返りの重要性③（演習、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル 介護総合演習Ⅳ			授業の種類 講　義　・　演　習
授業担当者 野口　佳代		具体的な実務経験の内容 介護老人福祉施設勤務 11 年	
授業の回数 30	時間数（単位数） 30（1）	配当学年・時期 2年・後期	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】

実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。

【授業全体の内容の概要】

実習先の概要、実習Ⅱの展開について

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

あらゆる介護場面に共通する基礎的な介護の知識・技術を習得する。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01　ケアハウス①（講義、質疑応答）
02　ケアハウス②（講義、質疑応答）
03　ケアハウス③（講義、質疑応答）
04　ケアハウス④（演習、質疑応答）
05　重症心身障害児施設①（講義、質疑応答）
06　重症心身障害児施設②（講義、質疑応答）
07　重症心身障害児施設③（講義、質疑応答）
08　重症心身障害児施設④（演習、質疑応答）
09　知的障害者更生施設①（講義、質疑応答）
10　知的障害者更生施設②（講義、質疑応答）
11　知的障害者更生施設③（講義、質疑応答）
12　知的障害者更生施設④（演習、質疑応答）
13　訪問介護（実習Ⅱ）①（講義、質疑応答）
14　訪問介護（実習Ⅱ）②（講義、質疑応答）
15　訪問介護（実習Ⅱ）③（講義、質疑応答）

※16－30次項添付

【使用テキスト・参考文献】 介護福祉士養成講座 「⑩介護総合演習・実習」（中央法規出版）	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など） 授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　訪問介護（演習、質疑応答）
17　実習終了後に行うこと①（講義、質疑応答）
18　実習終了後に行うこと②（講義、質疑応答）
19　実習終了後に行うこと③（講義、質疑応答）
20　実習終了後に行うこと④（演習、質疑応答）
21　実習終了後に行うこと⑤（演習、質疑応答）
22　実習終了後に行うこと⑥（演習、質疑応答）
23　実習終了後に行うこと⑦（演習、質疑応答）

24 実習の振り返りの重要性①（講義、質疑応答）
25 実習の振り返りの重要性②（講義、質疑応答）
26 実習の振り返りの重要性③（講義、質疑応答）
27 実習の振り返りの重要性④（講義、質疑応答）
28 実習の振り返りの重要性⑤（講義、質疑応答）
29 実習の振り返りの重要性⑥（演習、質疑応答）
30 実習の振り返りの重要性⑦（演習、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル コミュニケーション技術Ⅱ			授業の種類 講　義
授業担当者 野口　佳代		具体的な実務経験の内容 介護老人福祉施設勤務 11 年	
授業の回数 15	時間数（単位数） 15（2）	配当学年・時期 2年・通年	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】 介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者や利用者家族、あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力を身につけるための学習とする。

【授業全体の内容の概要】

介護におけるチームのコミュニケーション

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

①他社に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につける。②円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につける。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01 介護におけるチームのコミュニケーションとは（講義、質疑応答）
02 介護におけるチームのコミュニケーションの方法（講義、質疑応答）
03 介護における記録の意義と目的（講義、質疑応答）
04 介護における記録の種類（講義、質疑応答）
05 記録の書き方と留意点（講義、質疑応答）
06 記録の活用①（講義、質疑応答）
07 記録の活用②（講義、質疑応答）
08 情報の保護と管理（講義、質疑応答）
09 IT を活用した記録の意義と活用の留意点（講義、質疑応答）
10 報告・連絡・相談の意義と目的（講義、質疑応答）
11 報告・連絡・相談の方法と留意点（講義、質疑応答）
12 会議の意義と目的（講義、質疑応答）
13 会議の種類（講義、質疑応答）
14 会議の方法と留意点（講義、質疑応答）
15 プレゼンテーションの基本（講義、質疑応答）

【使用テキスト・参考文献】 新・介護福祉士養成講座 「⑤コミュニケーション技術」（中央法規出版）	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など） 授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

科目名	人間関係とコミュニケーションⅡ						
担当教員名	野口　佳代						
配当学年・学期	2年 前期	時間・単位数	30（2）	授業区分	講義	必選の別	必修
授業の目的	対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する学習とする。 介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。						
授業の目標 （到達目標）	人間関係とコミュニケーションの基礎では、自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。 チームマネジメントでは、ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶことができる。						
使用テキスト	最新　介護福祉士養成講座1　「人間の理解」　中央法規						
評価基準・方法	授業時数の 80%以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60 点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験結果を総合的に勘案して行う。						

1. 授業計画と内容

回	テーマ・内容	形式	使用テキスト
1	介護実践におけるチームマネジメントの意義	講義	P178
2	ヒューマンサービスとしての介護サービス①	講義	P179
3	ヒューマンサービスとしての介護サービス②	講義	P179
4	介護現場で求められるチームマネジメント①	講義	P179～182
5	介護現場で求められるチームマネジメント②	講義	P183～187
6	介護実践におけるチームマネジメントの取り組み①	講義	P188～190
7	介護実践におけるチームマネジメントの取り組み②	講義	P191～192
8	ケアを展開するためのチームマネジメント	講義	P203
9	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み①	講義	P204
10	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み②	講義	P205
11	チームでケアを展開するためのマネジメント①	講義	P206～P208
12	チームでケアを展開するためのマネジメント②	講義	P209～211
13	チームの力を最大化するためのマネジメント①	講義	P212～215
14	チームの力を最大化するためのマネジメント②	講義	P216～218
15	情報共有の場について考える	講義	P219
16	リーダーシップ・フォロワーシップについて考える	講義	P219
17	人材育成・自己研鑽のためのチームマネジメント	講義	P220
18	介護福祉職のキャリアと求められる実践力①	講義	P220
19	介護福祉職のキャリアと求められる実践力②	講義	P220
20	介護福祉職としてのキャリアデザイン①	講義	P221～223
21	介護福祉職としてのキャリアデザイン②	講義	P224～227
22	介護福祉職のキャリア支援・開発①	講義	P228～230
23	介護福祉職のキャリア支援・開発②	講義	P231～232
24	自己研鑽に必要な支援	講義	P233～242
25	介護福祉士としてのキャリアをイメージする	講義	P250

26	スーパービジョンの機能について理解する	講義	P250
27	組織の目標達成のためのチームマネジメント	講義	P251
28	介護サービスを支える組織の構造	講義	P251
29	介護サービスを支える組織の機能と役割	講義	P252～259
30	介護サービスを支える組織の管理	講義	P260～265

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

授業のタイトル 医療事務（医科）Ⅱ			授業の種類 講　義
授業担当者 木立　幸子		具体的な実務経験の内容 病院勤務 6 年	
授業の回数 120	時間数（単位数） 120（8）	配当学年・時期 1年・前期	必修・選択 必　修

【授業の目的・ねらい】

診療報酬請求に関する知識を学び、病院勤務に必要な知識及び技術を身につける。
医療事務技能審査試験・メディカルクラーク（医科）資格取得の為の知識の取得。

【授業全体の内容の概要】

患者接遇、医療保険制度、医療関連法規、レセプトの理解

【授業修了時の達成課題（到達目標）】

医療事務技能審査試験・メディカルクラーク（医科）資格取得に足る知識の習得。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

01 医療保険制度の基礎知識・点数表の読み方（講義、質疑応答）
02 初診料と再診料①（講義、質疑応答）
03 初診料と再診料②（講義、質疑応答）
04 初診料と再診料③（講義、質疑応答）
05 初診料と再診料④（問題演習、質疑応答）
06 初診料と再診料⑤（問題演習、質疑応答）
07 医学管理等①（講義、質疑応答）
08 医学管理等②（講義、質疑応答）
09 医学管理等③（講義、質疑応答）
10 医学管理等④（問題演習、質疑応答）
11 医学管理等⑤（問題演習、質疑応答）
12 在宅医療①（講義、質疑応答）
13 在宅医療②（講義、質疑応答）
14 在宅医療③（問題演習、質疑応答）
15 在宅医療④（問題演習、質疑応答）

【使用テキスト・参考文献】	【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など）
医療事務　テキスト1　（医科・歯科共通） テキスト2　（医科・歯科・クリニック共通） 医科テキスト3・4　医科スタディブック ハンドブック（医科）（東京丸の内出版）	授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16 処置①（講義、質疑応答）
17 処置②（講義、質疑応答）
18 処置③（講義、質疑応答）
19 処置④（問題演習、質疑応答）
20 処置⑤（問題演習、質疑応答）
21 手術・輸血・麻酔①（講義、質疑応答）

22 手術・輸血・麻酔②（講義、質疑応答）
23 手術・輸血・麻酔③（講義、質疑応答）
24 手術・輸血・麻酔④（問題演習、質疑応答）
25 手術・輸血・麻酔⑤（問題演習、質疑応答）
26 検査①（講義、質疑応答）
27 検査②（講義、質疑応答）
28 検査③（講義、質疑応答）
29 検査④（講義、質疑応答）
30 検査⑤（講義、質疑応答）
31 検査⑥（講義、質疑応答）
32 病理診断①（講義、質疑応答）
33 病理診断②（講義、質疑応答）
34 病理診断③（問題演習、質疑応答）
35 リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療①（講義、質疑応答）
36 リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療②（講義、質疑応答）
37 リハビリテーション・精神科専門療法・放射線治療③（問題演習、質疑応答）
38 入院料等①（講義、質疑応答）
39 入院料等②（講義、質疑応答）
40 入院料等③（講義、質疑応答）
41 入院料等④（問題演習、質疑応答）
42 入院料等⑤（問題演習、質疑応答）
43 投薬（処方箋）①（講義、質疑応答）
44 投薬（処方箋）②（講義、質疑応答）
45 投薬（処方箋）③（講義、質疑応答）
46 投薬（処方箋）④（問題演習、質疑応答）
47 投薬（処方箋）⑤（問題演習、質疑応答）
48 投薬（処方箋）⑥（問題演習、質疑応答）
49 注射①（講義、質疑応答）
50 注射②（講義、質疑応答）
51 注射③（講義、質疑応答）
52 注射④（問題演習、質疑応答）
53 注射⑤（問題演習、質疑応答）
54 注射⑥（問題演習、質疑応答）
55 画像診断①（講義、質疑応答）
56 画像診断②（講義、質疑応答）
57 画像診断③（講義、質疑応答）
58 画像診断④（問題演習、質疑応答）
59 画像診断⑤（問題演習、質疑応答）
60 画像診断⑥（問題演習、質疑応答）
61 カルテとレセプトの見方（講義、質疑応答）
62 レセプト点検①（講義、質疑応答）
63 レセプト点検②（講義、質疑応答）
64 レセプト点検③（講義、質疑応答）
65 レセプト点検④（講義、質疑応答）
66 医療機関の分類と保険医療機関
67 外来業務と入院業務（講義、質疑応答）
68 医療保険制度①（講義、質疑応答）
69 医療保険制度②（講義、質疑応答）
70 医療保険制度③（講義、質疑応答）
71 医療保険制度④（講義、質疑応答）
72 医療保険制度⑤（講義、質疑応答）
73 後期高齢者医療制度①（講義、質疑応答）
74 後期高齢者医療制度②（講義、質疑応答）
75 窓口徴収（講義、質疑応答）
76 公費負担医療制度①（講義、質疑応答）
77 公費負担医療制度②（講義、質疑応答）
78 公費負担医療制度③（講義、質疑応答）

79 公費負担医療制度④（講義、質疑応答）
80 公費負担医療制度⑤（講義、質疑応答）
81 介護保険制度①（講義、質疑応答）
82 介護保険制度②（講義、質疑応答）
83 健康保険法①（講義、質疑応答）
84 健康保険法②（講義、質疑応答）
85 保険医療機関及び保険医療養担当規則①（講義、質疑応答）
86 保険医療機関及び保険医療養担当規則②（講義、質疑応答）
87 保険医療機関及び保険医療養担当規則③（講義、質疑応答）
88 電子カルテシステム・保険外併用療養費・DPC 制度（講義、質疑応答）
89 その他の公費負担医療制度・医療費助成制度、労災と自賠責①（講義、質疑応答）
90 その他の公費負担医療制度・医療費助成制度、労災と自賠責②（講義、質疑応答）
91 患者接遇の基本①（講義、質疑応答）
92 患者接遇の基本②（講義、質疑応答）
93 患者受付の対応①（講義、質疑応答）
94 患者受付の対応②（講義、質疑応答）
95 患者受付の対応③（講義、質疑応答）
96 個人情報保護の取り扱い①（講義、質疑応答）
97 個人情報保護の取り扱い②（講義、質疑応答）
98 検定試験対策・実技Ⅰ患者接遇①（問題演習、質疑応答）
99 検定試験対策・実技Ⅰ患者接遇②（問題演習、質疑応答）
100 検定試験対策・実技Ⅰ患者接遇③（問題演習、質疑応答）
101 検定試験対策・実技Ⅰ患者接遇④（問題演習、質疑応答）
102 検定試験対策・実技Ⅰ患者接遇⑤（問題演習、質疑応答）
103 検定試験対策・学科　医療事務知識①（問題演習、質疑応答）
104 検定試験対策・学科　医療事務知識②（問題演習、質疑応答）
105 検定試験対策・学科　医療事務知識③（問題演習、質疑応答）
106 検定試験対策・学科　医療事務知識④（問題演習、質疑応答）
107 検定試験対策・学科　医療事務知識⑤（問題演習、質疑応答）
108 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検①（問題演習、質疑応答）
109 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検②（問題演習、質疑応答）
110 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検③（問題演習、質疑応答）
111 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検④（問題演習、質疑応答）
112 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑤（問題演習、質疑応答）
113 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑥（問題演習、質疑応答）
114 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑦（問題演習、質疑応答）
115 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑧（問題演習、質疑応答）
116 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑨（問題演習、質疑応答）
117 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑩（問題演習、質疑応答）
118 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑪（問題演習、質疑応答）
119 検定試験対策・実技Ⅱ　診療報酬請求事務レセプト点検⑫（問題演習、質疑応答）
120 総復習（講義、質疑応答）

【実務経験のある教員等による授業科目】

授　業　概　要

<table>
<tr><td colspan="3">授業のタイトル
医事法規</td><td>授業の種類
講　義</td></tr>
<tr><td colspan="2">授業担当者
木立　幸子
三神　修</td><td colspan="2">具体的な実務経験の内容
病院勤務 6 年</td></tr>
<tr><td>授業の回数
60</td><td>時間数（単位数）
60（2）</td><td>配当学年・時期
1年・通年</td><td>必修・選択
必　修</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の目的・ねらい】
社会保障制度及び医療関連法規の概要を理解し、知識の定着を図る。

【授業全体の内容の概要】
医療施設に関する法規、医療従事者に関する法規、薬事に関する法規、保険診療に関する法規
労働に関する法規、社会福祉に関する法規、公費負担に関する法規、その他の関連法規
保険医療機関及び保険医療養担当規則
【授業修了時の達成課題（到達目標）】
医療関連法規を理解し、診療報酬請求事務能力認定試験の資格取得に足る知識の習得。</td></tr>
<tr><td colspan="4">【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】
コマ数
01　社会保障制度及び医療保障制度の概説（講義、質疑応答）
02　医療法①（講義、質疑応答）
03　医療法②（講義、質疑応答）
04　医療法③（講義、質疑応答）
05　医療法④（講義、質疑応答）
06　医療法⑤（講義、質疑応答）
07　医療法⑥（講義、質疑応答）
08　医療従事者に関する法規（講義、質疑応答）
09　医師法（講義、質疑応答）
10　薬剤師法（講義、質疑応答）
11　保健師助産師看護師法（講義、質疑応答）
12　診療放射線技師法（講義、質疑応答）
13　臨床工学技士法（講義、質疑応答）
14　救急救命士法（講義、質疑応答）
15　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律①（講義、質疑応答）</td></tr>
<tr><td colspan="2">【使用テキスト・参考文献】
最新　医事関連法の完全知識　（医学通信社）
新　医療秘書実務シリーズ4　改訂　医療関連法規（建帛社）</td><td colspan="2">【単位認定の方法及び基準】（試験やレポートの評価基準など）
授業時数の80％以上を学ぶ意欲をもって出席した者に対し、期末試験を実施し、60点以上を合格とする。成績評価については、出席率、受講態度、試験成績を総合的に勘案して行う。</td></tr>
</table>

【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】

コマ数

16　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律②（講義、質疑応答）

17　感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律③（講義、質疑応答）

18 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律①（講義、質疑応答）
19 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律②（講義、質疑応答）
20 医薬品・医療機器に関する法律①（講義、質疑応答）
21 医薬品・医療機器に関する法律②（講義、質疑応答）
22 医療保険制度①（講義、質疑応答）
23 医療保険制度②（講義、質疑応答）
24 医療保険の種類①（講義、質疑応答）
25 医療保険の種類②（講義、質疑応答）
26 健康保険法①（講義、質疑応答）
27 健康保険法②（講義、質疑応答）
28 健康保険法③（講義、質疑応答）
29 健康保険法④（講義、質疑応答）
30 健康保険法⑤（講義、質疑応答）
31 健康保険法⑥（講義、質疑応答）
32 健康保険法⑦（講義、質疑応答）
33 健康保険法⑧（講義、質疑応答）
34 国民健康保険法①（講義、質疑応答）
35 国民健康保険法②（講義、質疑応答）
36 高齢者の医療の確保に関する法律①（講義、質疑応答）
37 高齢者の医療の確保に関する法律②（講義、質疑応答）
38 高齢者の医療の確保に関する法律③（講義、質疑応答）
39 診療報酬に関する法規（講義、質疑応答）
40 社会保険診療報酬支払基金法（講義、質疑応答）
41 保険医療機関及び保険医療養担当規則①（講義、質疑応答）
42 保険医療機関及び保険医療養担当規則②（講義、質疑応答）
43 保険医療機関及び保険医療養担当規則③（講義、質疑応答）
44 保険医療機関及び保険医療養担当規則④（講義、質疑応答）
45 保険医療機関及び保険医療養担当規則⑤（講義、質疑応答）
46 生活保護法（講義、質疑応答）
47 介護保険法①（講義、質疑応答）
48 介護保険法②（講義、質疑応答）
49 介護保険法③（講義、質疑応答）
50 介護保険法④（講義、質疑応答）
51 介護保険法⑤（講義、質疑応答）
52 難病の患者に対する医療等に関する法律（講義、質疑応答）
53 労働者災害補償保険法①（講義、質疑応答）
54 労働者災害補償保険法②（講義、質疑応答）
55 労働者災害補償保険法③（講義、質疑応答）
56 労働者災害補償保険法④（講義、質疑応答）
57 労働者災害補償保険法⑤（講義、質疑応答）
58 自動車損害賠償保障法（講義、質疑応答）
59 個人情報の保護に関する法律（講義、質疑応答）
60 総復習（講義、質疑応答）